

(第1面)

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p>令和 7年 5月 27日</p> <p>(宛先) 岡 崎 市 長</p> <p>提出者</p> <p>住 所 岡崎市箱柳町字川北72番地</p> <p>氏 名 株式会社山口土木</p> <p>代表取締役 山田 健一</p> <p>(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)</p> <p>電話番号 0564-65-6570</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	株式会社山口土木
事業場の所在地	岡崎市箱柳町字川北72番地
計画期間	令和7年度(令和7年4月～令和8年3月)
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06:総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高: 89,170万円
③従業員数	26人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	宅地造成・道路舗装・下水道管渠築造 がれき類→再生処理業者に委託して再生砕石として再資源化 木くず→再生処理業者に委託してチップとして再資源化 廃プラスチック類→再生処理業者に委託して塩ビ製品材料として再資源化 混合物→中間処理業者に委託して選別後再資源化及び埋立処分 汚泥→中間処理業者に委託し、脱水後土壌改良材として再資源化

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
<p>(管理体制図)</p> <p>工事部部长 (廃棄物処理総括責任者)</p> <p>┆</p> <p>経理部 (廃棄物管理担当部署)</p> <p>┆</p> <p>工事現場管理責任者 (廃棄物処理責任者)</p> <p>┆</p> <p>┆ 当社職員</p> <p>┆ 下請会社</p>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度 (令和 6年度) 実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	排出量	1580.83 t	3.25 t
	(これまでに実施した取組) ・現場での加工を控え、自社倉庫内でプレカットを行うことにより端材の量を減らす。		
② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	排出量	1,400 t	3 t
	(今後実施する予定の取組) ・包装材・梱包材の簡素化及び再利用 ・実寸発注の実践による余剰材の発生抑制		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・金属屑や紙類等、有価や無償で引き取ってもらえるものがあれば分別を徹底し、排出量・処理費を削減している。		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・分別後ほかの廃棄物が混入しないよう保管を徹底する。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	———	———
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	———	———
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・実施する予定はない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	———	———
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	———	———
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・実施する予定はない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	———	———
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	———	———
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・実施する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 6年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	全処理委託量	1,580.83 t	3.25 t
	優良認定処理業者への処理委託量	540.1 t	0.56 t
	再生利用業者への処理委託量	1,580.83 t	3.25 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・可能な限り優良認定処理業者への委託を進める。 ・マニフェストにより最終処分の確認を徹底する。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	全処理委託量	1,400 t	3 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	800 t	2 t
	再生利用業者への 処理委託量	1,400 t	3 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再資源化施設を有する廃棄物処理業者に処理を委託する。 ・廃プラスチック類については分別をすすめ、メーカー回収によるリサイクルで減量化を行う。 		
※事務処理欄			

(別紙1)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

産業廃棄物の種類	木くず	汚泥	混合物
排 出 量	384.95 t	4.35 t	25.035 t

②計画

産業廃棄物の種類	木くず	汚泥	混合物
排 出 量	340 t	4 t	22 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状

産業廃棄物の種類	木くず	汚泥	混合物
全処理委託量	384.95 t	4.35 t	25.035 t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	4.35 t	25.035 t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	384.95t	4.35 t	25.035 t

② 計画

産業廃棄物の種類	木くず	汚泥	混合物
全処理委託量	340t	4 t	22 t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	150 t	2 t	20 t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	340t	4 t	22 t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(第1面)

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p>令和 7年 5月 29日</p> <p>(宛先) 岡 崎 市 長</p> <p>提出者</p> <p>住 所 岡崎市西中町一丁目18番地</p> <p>氏 名 セイコー建設有限会社</p> <p style="text-align: right;">代表取締役 山本 雅之</p> <p style="text-align: center;">(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)</p> <p>電話番号 0564-25-2559</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	セイコー建設有限会社
事業場の所在地	岡崎市西中町一丁目18番地
計画期間	令和7年度(令和7年4月～令和8年3月)
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06: 総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高: 68084万円
③ 従業員数	27名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	(建設工事) ・がれき類⇒再生処理業者に委託し破碎後再生砕石として再資源化 ・廃プラスチック類⇒再生処理業者に委託し原料に再資源化 ・木くず⇒再生処理業者に委託し再生紙及び燃料に再資源化 ・汚泥⇒再生処理業者に委託し分級、脱水、天日乾燥後再資源化

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)		
工事部	(社長・工事部長・現場担当者)	【産業廃棄物処理に関する検討】
↓		
現場責任者	(主任技術者・現場管理人)	【廃棄物処理計画の作成】
↓		
管理責任者	(現場代理人・総務責任者) (総務責任者)	【マニフェスト管理】 【全現場のマニフェスト管理・集計】

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類（アスファルトガラ、コンクリートガラ）、廃プラスチック類、木くずはそれぞれ分別して保管
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記以外、再生可能な品目において分別して保管

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していません		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はありません		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 実施していません			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 実施する予定はありません			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していません		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はありません		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 優良認定処理業者を選定し法令に従い書面より【委託契約書】を締結する 可能な範囲で再生利用業者への処理委託を行い、最終処分の低減を図る		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	がれき類	廃プラスチック	木くず	汚泥	陶磁器くず	混合物	合計
① 現状【前年度 令和6年度 実績】	2552.00	29.80	15.00	58.43	0.10	40.00	2695.33
② 計画【今年度 令和7年度 目標】	3000.00	20.00	10.00	50.00	0.00	50.00	3130.00
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	がれき類	廃プラスチック	木くず	汚泥	陶磁器くず	混合物	合計
① 現状【前年度 令和6年度 実績】							
全処理委託量	2552.00	29.80	15.00	58.43	0.10	40.00	2695.33
優良認定処理業者への処理委託量	1821.00	29.80	15.00	58.43	0.10	40.00	1964.33
再生利用業者への処理委託量	2552.00	29.80	15.00	58.43	0.10	40.00	2695.33
認定熱回収業者への処理委託量							
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量							
② 計画【今年度 令和7年度 目標】							
全処理委託量	3000.00	20.00	10.00	50.00	0.00	50.00	3130.00
優良認定処理業者への処理委託量	2000.00	20.00	10.00	50.00	0.00	50.00	2130.00
再生利用業者への処理委託量	3000.00	20.00	10.00	50.00	0.00	50.00	3130.00
認定熱回収業者への処理委託量							
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量							

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和7年 6月 5日

(宛先) 岡 崎 市 長

提出者

住 所 岡崎市小美町字河野32番地
氏 名 松尾建設株式会社
代表取締役 松尾景紀
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0564-47-3555

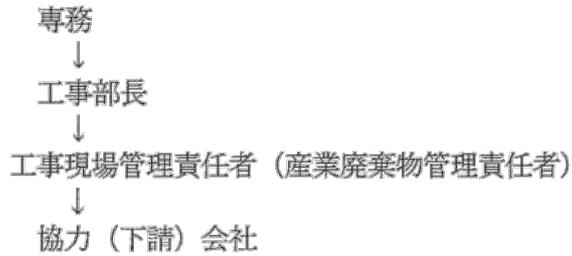
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	松尾建設株式会社
事業場の所在地	岡崎市小美町字河野32番地
計画期間	令和7年度(令和7年4月～令和8年3月)
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 : 総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 : 311,009万円
③ 従業員数	29人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	土木建設工事 汚泥→中間処理業者に委託して脱水後、埋立処分 廃プラスチック類→再生処理業者に委託してRPF燃料として再資源化 木くず→再生処理業者に委託して、チップとして再資源化 ガラス、陶器くず→中間処理業者に委託して、粉砕して埋立処分 がれき類→再生処理業者に委託して、再生砕石として再資源化 混合物→最終処分業者に委託して選別し、出来る限り再資源化

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (令和6年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排出量	15.75 t	11.81 t
	(これまでに実施した取組) ・ 分別の徹底		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排出量	15 t	10 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 現状と同じ		

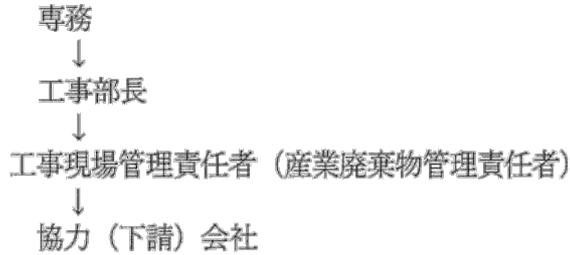
産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃プラスチック類、木くず、がれき類はそれぞれに分別し、再生処理業者に運搬委託している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 特になし

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (令和5年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス、陶器くず
	排 出 量	109.02 t	0.59 t
	(これまでに実施した取組) ・ 分別の徹底		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス、陶器くず
	排 出 量	100 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 現状と同じ		

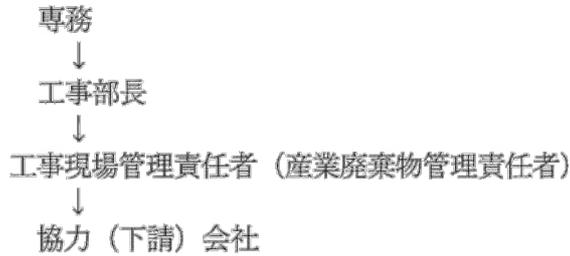
産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃プラスチック類、木くず、がれき類はそれぞれに分別し、再生処理業者に運搬委託している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 特になし

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

② 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	混合物
	排 出 量	1, 015. 02 t	44. 00 t
	(これまでに実施した取組) ・ 分別の徹底		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	混合物
	排 出 量	1, 000 t	50 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 現状と同じ		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃プラスチック類、木くず、がれき類はそれぞれに分別し、再生処理業者に運搬委託している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 特になし

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	15.75 t	11.81 t
	優良認定処理業者への処理委託量	14.30 t	1.68 t
	再生利用業者への処理委託量	15.75 t	11.81 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減を図る。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス、陶器くず
	全処理委託量	109.02 t	0.59 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	0.14 t
	再生利用業者への処理委託量	109.02 t	0.59 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減を図る。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
② 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	混合物
	全処理委託量	1,015.02 t	44.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	209.64 t	24.00 t
	再生利用業者への処理委託量	1,015.02 t	44.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減を図る。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	15 t	10 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	13 t	2 t
	再生利用業者への 処理委託量	15 t	10 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・委託先処理業者には定期的に実地確認を実施する。		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス、陶器くず
	全処理委託量	100 t	0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	100 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・委託先処理業者には定期的に実地確認を実施する。		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	混合物
	全処理委託量	1,000 t	1,000 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	200 t	200 t
	再生利用業者への 処理委託量	1,000 t	1,000 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・委託先処理業者には定期的に実地確認を実施する。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 7年 6月 22日
10

(宛先) 岡 崎 市 長

提出者

住 所 愛知県岡崎市矢作町字土井城4-1

氏 名 フジエ建設株式会社

代表取締役 藤江 利宜

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0564-31-1261

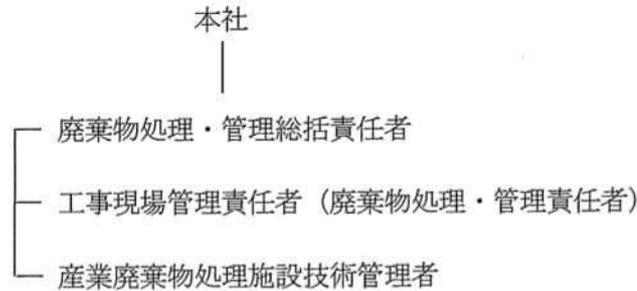
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	フジエ建設株式会社
事業場の所在地	愛知県岡崎市矢作町字土井城4番地1
計画期間	令和7年度(令和7年4月~令和8年3月)
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06:総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高:173.56万円
③従業員数	12人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>建設工事</p> <p>コンクリートがら、アスコンがら、がれき類、廃プラ、木くず、紙くず → 再生処理業者へ委託して破碎し、再資源化</p> <p>汚泥 → 再生処理業者へ委託して脱水、分級し、再資源化</p>

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度実績】			
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり		
	排出量			
	(これまでに実施した取組) ・特になし			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり		
	排出量			
	(今後実施する予定の取組) ・廃棄物が少なくなるよう、加工料を検討する。			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・がれき類、廃プラ、木くず、紙くず、汚泥は、それぞれ分別している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・がれき類、廃プラ、木くず、紙くず、汚泥を分別する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度実績】			
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量			
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量			
	(今後実施する予定の取組) ・特になし			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 元年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量			
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量			
(これまでに実施した取組) ・特に実施していない				
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量			
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量			
(今後実施する予定の取組) ・特になし				

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度実績】			
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量			
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量			
	(今後実施する予定の取組) ・特になし			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度実績】			
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり		
	全処理委託量			
	優良認定処理業者への処理委託量			
	再生利用業者への処理委託量			
	認定熱回収業者への処理委託量			
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量			
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない			

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり		
	全処理委託量			
	優良認定処理業者への 処理委託量			
	再生利用業者への 処理委託量			
	認定熱回収業者への 処理委託量			
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量			
	(今後実施する予定の取組) ・特になし			
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画 (別紙)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度(令和6年度)実績】

①現状	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	汚泥	金属くず	紙くず	廃プラスチック類	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	1452.60t
	排出量	221.00t	860.00t	0.40t	8.60t	0.00t	12.20t	333.70t	16.70t	

【目標】

②計画	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	汚泥	金属くず	紙くず	廃プラスチック類	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	1335.4t
	排出量	200.0t	800.0t	0.4t	8.0t	0.0t	12.0t	300.0t	15.0t	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和6年度)実績】

①現状	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	汚泥	金属くず	紙くず	廃プラスチック類	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	1452.60t
	全処理委託量	221.00t	860.00t	0.40t	8.60t	0.00t	12.20t	333.70t	16.70t	

優良認定処理業者への処理委託量

再生利用業者への処理委託量

認定熱回収業者への処理委託量

認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

108.40t

1452.60t

【目標】

②計画	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	汚泥	金属くず	紙くず	廃プラスチック類	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	1335.4t
	全処理委託量	200.0t	800.0t	0.4t	8.0t	0.0t	12.0t	300.0t	15.0t	

優良認定処理業者への処理委託量

再生利用業者への処理委託量

認定熱回収業者への処理委託量

認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

173.40t

1335.4t

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2025 年 6 月 30 日	
岡崎市長 殿	
提出者	
住所 愛知県安城市高棚町東山83番地	
氏名 株式会社 大同建設工業	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
代表取締役 青本 映子	
電話番号 0566-92-7763	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	岡崎市内各工事
事業場の所在地	岡崎市内
計画期間	2025年度(2025年4月1日～2026年3月31日)
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	07 特別工事業(設備工事を除く)
②事業の規模	元請完成工事高 51,214,999円
③従業員数	38人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	建築物解体 がれき類 ⇒ 再生処理業者に委託し、破砕後再生砕石として再資源化 木くず ⇒ 再生処理業者に委託し、破砕後チップとして再資源化 廃プラスチック類 ⇒ 再生処理業者に委託し、圧縮後PRF燃料として再資源化 ガラス・コンクリ・陶磁器くず ⇒ 再生処理業者に委託し、破砕後再生砕石として再資源化 廃石膏ボード ⇒ 再生処理業者に委託し、選別後破砕し石膏粉末として再資源化 混合物 ⇒ 最終処分業者に委託し、選別後、破砕、焼却、埋立処分 繊維くず ⇒ 再生処理業者に委託し、選別後圧縮し古紙原料として再資源化 金属くず ⇒ 再生処理業者に委託し、破砕後鋼材原料として再資源化 石綿含有産業廃棄物 ⇒ 最終処分業者に委託し、埋立処分

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
代表取締役			
↓			
各工事担当者			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（2024年度）実績】 別紙1の通り		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 人力重機による選別を行う ・ 事前に手解体を行い、分別を行う		
②計画	【目標】 別紙2の通り		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 上記取組みの継続実施		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類ごとに分別し排出している		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記取組みの継続実施		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 2020年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる			

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t
	再生利用業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組)	
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(第1面)

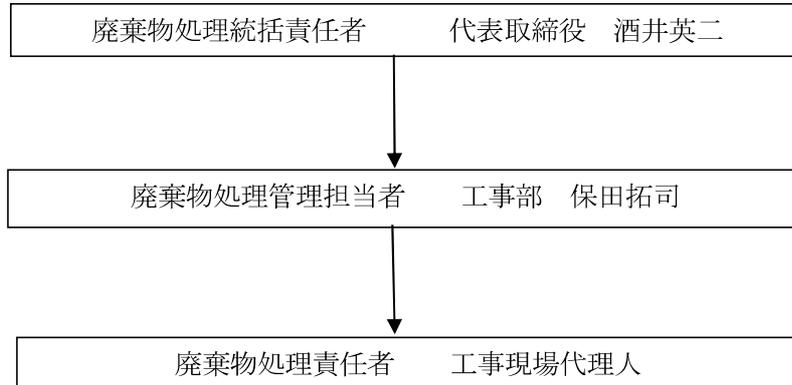
産業廃棄物処理計画書	
令和7年6月2日	
(宛先) 岡 崎 市 長	
提出者	
住 所 岡崎市上和田町字城前22-1	
氏 名 大伸建設株式会社 代表取締役 酒井 英二 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0564-54-7777	
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	大伸建設株式会社
事業場の所在地	岡崎市上和田町字城前22-1
計画期間	令和7年度(令和7年4月～令和8年3月)
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06(総合工事業)
② 事業の規模	11億円(元請完成工事高)
③ 従業員数	34人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類(アスファルト塊 コンクリート塊) ⇒運搬⇒破碎⇒再生砕石、再生アスファルトとして再資源化 汚泥(建設汚泥)⇒運搬⇒脱水・乾燥、造粒固化⇒建設材料として再資源化 廃プラスチック類⇒運搬⇒破碎・圧縮・選別⇒再生材料として再資源化 木くず(伐木)⇒運搬⇒破碎⇒燃料、チップとして再資源化 混合物⇒運搬⇒選別・破碎⇒埋立処分・再生材料として再資源化 ガラス・陶磁器くず⇒破碎⇒埋立処分

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙①のとおり	
	排 出 量	別紙①のとおり	t
	(これまでに実施した取組) 現場毎に廃棄物処理計画書を作成する。 ・建設業であるため、受注高及び受注工事内容により、増減が激しい為、完成工事高あたりの排出量抑制を努めている。 ・職員及び下請会社に対する廃棄物の排出抑制及び適正な処理方法の周知徹底		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙①のとおり	
	排 出 量	別紙①のとおり	t
	(今後実施する予定の取組) ・現状実施事項に順ずる。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・木くず 紙類 (専用回収箱による分別)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・混合廃棄物 (金属、廃プラ、紙類等、再生可能な品目の分別の徹底。)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-----	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	-----	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-----	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	-----	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-----	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	-----	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	-----	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-----	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	-----	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	-----	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-----	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	-----	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-----	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	-----	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	別紙②のとおり	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙②のとおり	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙②のとおり	t
	認定熱回収業者への処理委託量	-----	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙②のとおり	t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・がれき、汚泥：再生利用率100%の継続。 ・廃プラスチック：再生利用100%を目指す。 ・がれき、汚泥、廃プラスチック：優良認定処理業者への委託。 		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙②のとおり	
	全処理委託量	別紙②のとおり	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙②のとおり	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙②のとおり	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	-----	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	-----	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がれき、汚泥：再生利用率100%の継続。 ・廃プラスチック、木くず：再生利用80%を目指す。 ・がれき、汚泥、廃プラスチック：優良認定処理業者への委託。 		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙①

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	廃棄物の種類	がれき類 (アスファルト塊。コンクリート塊)	汚泥 (建設汚泥)
	排出量	5375 t	15.87 t
	廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず (伐木)
	排出量	3.2 t	0.67t
	廃棄物の種類	混合物	ガラスくず陶磁器くず
	排出量	130.65t	0.09t
	廃棄物の種類	金属くず	
	排出量	0 t	
②計画	【目標】		
	廃棄物の種類	がれき類 (アスファルト塊。コンクリート塊)	汚泥 (建設汚泥)
	排出量	5000 t	20 t
	廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず (伐木)
	排出量	10 t	20 t
	廃棄物の種類	混合物	ガラスくず陶磁器くず
	排出量	80 t	0t
	廃棄物の種類	金属くず	
排出量	0t		

別紙②

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】			
産業廃棄物の種類	がれき類(アスファルト塊、 コンクリート塊)	汚泥 (建設汚泥)	
	全処理委託量	5375 t	15.87 t
優良認定処理業者への 処理委託量	734 t	15.87 t	
再生利用業者への 処理委託量	5375 t	15.87 t	
認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0.000 t	
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0.000 t	
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	
全処理委託量	3.2 t	0.67 t	
優良認定処理業者への 処理委託量	0.53 t	0.000 t	
再生利用業者への 処理委託量	3.2 t	0.67 t	
認定熱回収業者への 処理委託量	0.000 t	0.000 t	
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.000 t	0.000 t	
産業廃棄物の種類	混合物	ガラスくず陶磁器くず	
全処理委託量	130.65 t	0.09 t	
優良認定処理業者への 処理委託量	130.65 t	0.09 t	
再生利用業者への 処理委託量	130.65 t	0 t	
認定熱回収業者への 処理委託量	0.000 t	0.000 t	
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.000 t	0.000 t	
産業廃棄物の種類	金属くず		
全処理委託量	0 t		
優良認定処理業者への 処理委託量	0.000 t		
再生利用業者への 処理委託量	0 t		
認定熱回収業者への 処理委託量	0.000 t		
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.000 t		

① 現状

② 計画
③ 目標

【目標】			
産業廃棄物の種類	がれき類(アスファルト塊、 コンクリート塊)	汚泥 (建設汚泥)	
全処理委託量	5000 t	20 t	
優良認定処理業者への 処理委託量	1500 t	20 t	
再生利用業者への 処理委託量	5000 t	20 t	
認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	
産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず (伐木)	
全処理委託量	10 t	15 t	
優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t	
再生利用業者への 処理委託量	10 t	15 t	
認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	
産業廃棄物の種類	混合物	ガラスくず陶磁器くず	
全処理委託量	80 t	15 t	
優良認定処理業者への 処理委託量	80 t	0 t	
再生利用業者への 処理委託量	80 t	0 t	
認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	
産業廃棄物の種類	金属くず		
全処理委託量	0t		
優良認定処理業者への 処理委託量	0t		
再生利用業者への 処理委託量	0t		
認定熱回収業者への 処理委託量	0t		
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 7 年 6 月 24日	
岡 崎 市 長 殿	
提出者	
住 所 愛知県名古屋市中錦二丁目20番15号	
氏 名 鹿島建設株式会社 中部支店 安全環境部	
部 長 田 中 正 臣	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 052-307-5111	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	鹿島建設株式会社 中部支店 岡崎市内各現場
事業場の所在地	愛知県岡崎市内各現場
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	177,477 万円
③従業員数	27人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	「別紙①産業廃棄物の一連の処理の工程」のとおり

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 「別紙 ② 管理体制図」のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①・ 現状	【前年度（令和6年度）実績】（別紙③のとおり）		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 鋼製足場材の使用、設備機器等の梱包材の削減（メーカーへの協力要請） ・ 工法変更（仮設・本設）、設計に組込まれていない場合は以下の事項について発注者と協議 PC化、ユニット化、ラス型枠、床のデッキプレート等		
②計画	【目標】（別紙④のとおり）		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 前年度の取り組みを継続		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 施工段階で現場状況に応じて以下を実施 コンガラ、アスガラ、木くず、金属くず、ダンボール、石膏ボード ALC、岩綿吸音板、廃蛍光管、その他		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 前年度の取り組みを継続		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①・ 現状	【前年度（令和6年度）実績】（別紙③のとおり）		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		
	（これまでに実施した取組） 解体工事から発生したコンガラを現場内で破砕処理し、路盤材等に積極的に利用する。		
②計画	【目標】（別紙④のとおり）		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		
	（今後実施する予定の取組） 前年度の取り組みを継続		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①・ 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	_____	_____
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	_____	_____
（これまでに実施した取組）			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	_____	_____
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	_____	_____
（今後実施する予定の取組） _____			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①・ 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	_____	_____
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	_____	_____
	(今後実施する予定の取組)		

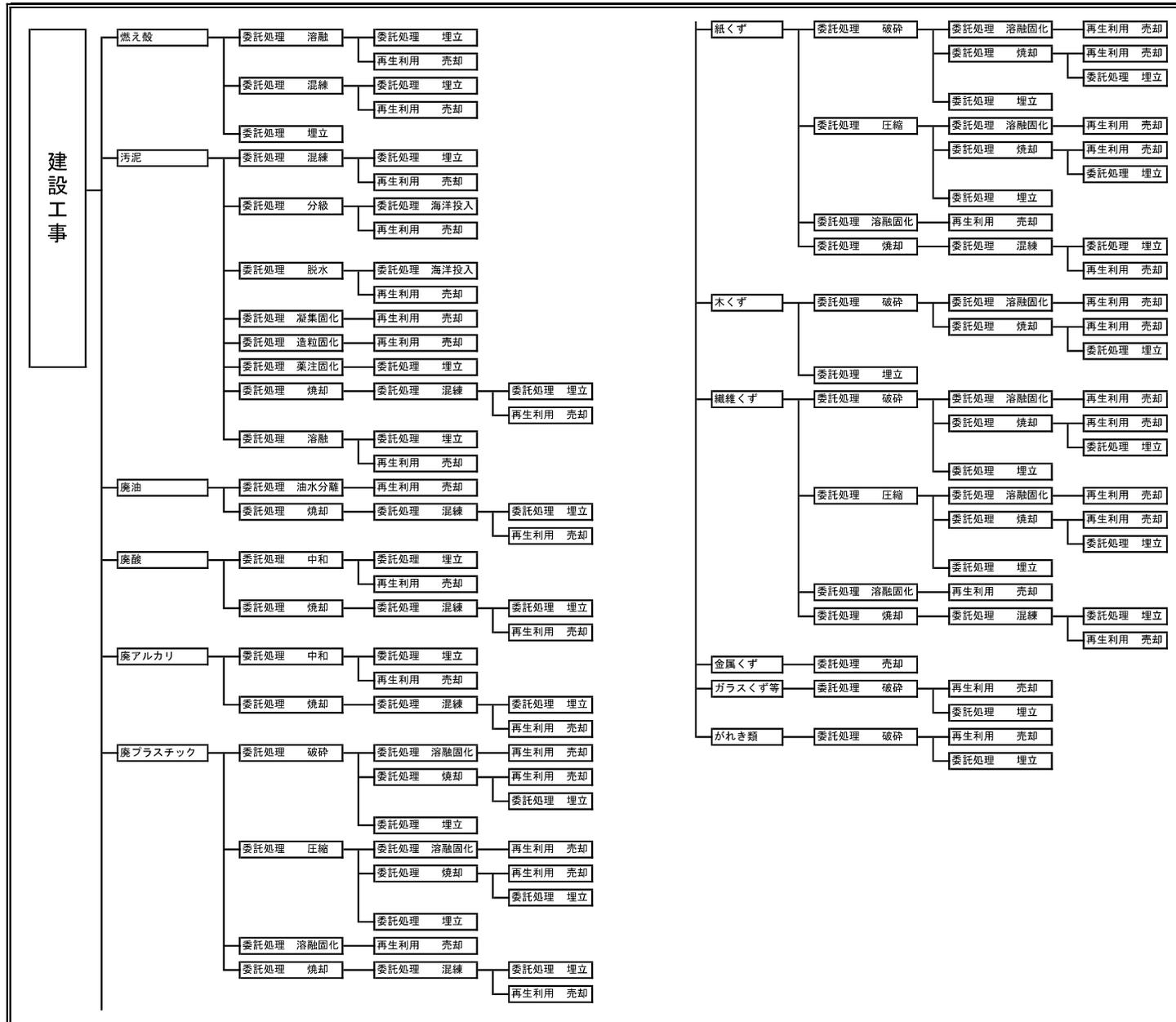
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①・ 現状	【前年度（令和6年度）実績】（別紙③のとおり）		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	委託処理業者に対し減量化、再資源化率の調査を行い、処理委託業者選定時の参考にしている。		

②計画	【目標】(別紙④のとおり)		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 前年度の取り組みを継続		
※事務処理欄			

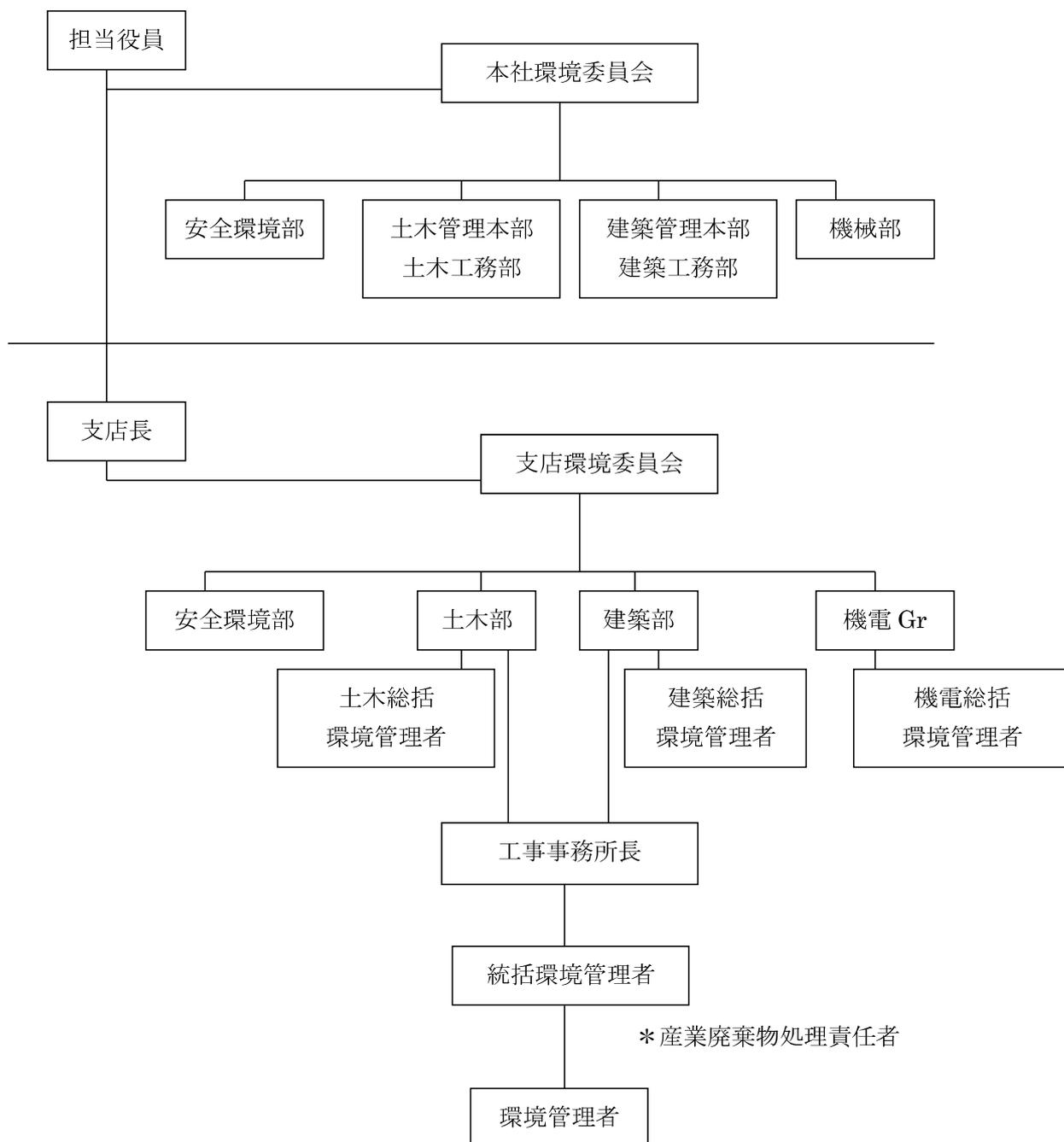
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

当該事業場において現行行っている事業に関する事項
産業廃棄物の一連の処理の工程



別紙 ② 管理体制図



産業廃棄物処理内訳【現状】

(単位:トン)

廃棄物の種類	①産業廃棄物排出量【現状】	②自己直接再生利用量【現状】	③自己直接埋立処分又は海洋投入量【現状】	④自己中間処理量(熱回収・減量)【現状】	⑤全処理委託量【現状】	⑤-1優良認定処理業者への処理委託量【現状】	⑤-2再生利用業者への処理委託量【現状】	⑤-3認定熱回収業者への処理委託量【現状】	⑤-4認定熱回収業者以外の熱回収業者への処理委託量【現状】
汚泥	290.5		0	0	290.5	290.5	290.5	0	0
がれき類	3,341.8	0	0	0	3,341.8	3,013.8	3,341.8	0	0
ガラス陶磁器くず	184.0	0	0	0	184.0	0.0	18.4	0	0
廃プラスチック類	17.2	0	0	0	17.2	17.2	7.7	0	0
木くず	4,470.8	0	0	0	4,470.8	0.4	4,470.8	0	0
金属くず	0.8	0	0	0	0.8	0.8	0.8	0	0
混合廃棄物	42.7	0	0	0	42.7	42.7	23.2	0	0
合計	8,347.8	0	0	0	8,347.8	3,365.4	8,153.2	0	0

別紙④

産業廃棄物処理計画内訳【計画】

(単位:トン)

廃棄物の種類	①産業廃棄物排出量【目標】	②自己直接再生利用量【目標】	③自己直接埋立処分又は海洋投入量【目標】	④自己中間処理量(熱回収・減量)【目標】	⑤全処理委託量【目標】	⑤-1優良認定処理業者への処理委託量【目標】	⑤-2再生利用業者への処理委託量【目標】	⑤-3認定熱回収業者への処理委託量【目標】	⑤-4認定熱回収業者以外の熱回収業者への処理委託量【目標】
汚泥	261	0	0	0	261	261	261	0	0
がれき類	3,008	0	0	0	3,008	3,008	3,008	0	0
ガラス陶磁器くず	166	0	0	0	166	166	116	0	0
廃プラスチック類	15	0	0	0	15	15	8	0	0
木くず	4,024	0	0	0	4,024	4,024	4,024	0	0
金属くず	1	0	0	0	1	1	1	0	0
混合廃棄物	38	0	0	0	38	38	15	0	0
合計	7,513	0	0	0	7,513	7,513	7,433	0	0

(第1面)

産業廃棄物処理計画書 令和7年6月25日 (宛先) 岡 崎 市 長 提出者 住 所 岡崎市岡町字南屋敷17番地1 氏 名 (株)クリエイティブ中央解体土木 代表取締役 神取 光好 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0564-71-0658 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	(株)クリエイティブ中央解体土木
事業場の所在地	岡崎市岡町字南屋敷17番地1
計画期間	令和7年度(令和7年4月～令和8年3月)
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高：600万円
③従業員数	3人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	建築物解体 がれき類→再生処理業者に委託 破碎後再生砕石として再資源化 木くず→再生処理業者に委託 破碎後チップとして再資源化 廃プラスチック類→再生処理業者に委託 圧縮後塩ビ製品として再資源化 混合物→中間処理業者に委託 選別後再資源化 ガラス・陶磁器くず→中間処理業者に委託 破碎・埋立処分・路盤材

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
廃棄物処理総括責任者
↓
廃棄物処理責任者 (工事現場責任者)
↓
協力業者 (下請け会社等)
↓
廃棄物管理担当部署 (経理部)
《マニフェスト管理、処理計画作成など》

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (令和6年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 各種類毎に分別		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き分別を徹底		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	各種類毎に分別
② 計画	混合物の分別を徹底

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	1117.90 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	64.00 t	t
	再生利用業者への処理委託量	1086.23 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 法令に従い、業者と書面により委託契約を締結する。 可能な範囲で再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減を図る。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	921.00 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	75.00t	t
	再生利用業者への 処理委託量	911.00t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組) 再生利用業者へ処理を委託する。 混合廃棄物を可能な限り分別する。</p>		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙

(単位:t)

産業廃棄物の種類	令和6年度	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
	実績数量				
全処理委託量	1117.90	64.00	1086.23	0.00	0.00
廃プラスチック類	14.80	0.00	14.80		
木くず	137.12	54.17	137.12		
繊維くず	0.12	0.00	0.12		
金属くず	1.13	0.00	1.13		
ガラス・陶磁器くず	17.62	0.24	17.62		
がれき類	892.83	9.00	892.83		
混合物	22.61	0.00	22.61		
石綿含有がれき類	31.67	0.59	0.00		

(単位:t)

産業廃棄物の種類	令和7年度	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
	計画数量				
全処理委託量	921.00	75.00	911.00	0.00	0.00
廃プラスチック類	10.00	0.00	10.00		
木くず	120.00	60.00	120.00		
繊維くず	1.00	0.00	1.00		
ガラス・陶磁器くず	20.00	0.00	20.00		
がれき類	750.00	12.00	750.00		
混合物	10.00	0.00	10.00		
石綿含有がれき類	10.00	3.00			

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)	
本 社	<ul style="list-style-type: none"> ・全社的な廃棄物処理に関する検討 ・廃棄物の発生抑制、減量化、循環利用(再使用・再生利用)、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・全社的な廃棄物処理方針の策定 ・廃棄物処理に関する各種事項の決定 ・廃棄物処理計画の作成
支店 (責任者)	<ul style="list-style-type: none"> ・支店における廃棄物処理に関する検討 ・廃棄物の発生抑制、減量化、循環利用(再使用・再生利用)、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・支店における廃棄物処理方針の策定 ・廃棄物処理に関する各種事項の決定 ・廃棄物処理計画の作成
支店 (担当者)	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物管理票の交付、管理 ・監督官庁への各種報告 ・産廃協力業者に対する教育、指導 ・委託契約の締結、契約書の管理 ・その他関係する事項

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (令和 6 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	排 出 量	- t	335.930 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	排 出 量	- t	278.153 t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> ・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。 ・分別推進看板の現場掲示。 ・現場での作業員への直接指導。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> ・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。 ・分別推進看板の現場掲示。 ・現場での作業員への直接指導。 ・狭小現場での分別の仕組みをつくる。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
排出量	24.750 t	710.219 t	2.340 t	2.260 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
排出量	20.493 t	588.068 t	1.938 t	1.871 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
排出量	251.800 t	136.650 t	156.732 t	2,004.216 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
排出量	208.493 t	113.147 t	129.776 t	1,659.509 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	【石綿含有】ガラスくず、コンクリート	【石綿含有】廃プラスチック	【石綿含有】がれき類
排出量	111.740 t	13.860 t	- t	31.130 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	【石綿含有】ガラスくず、コンクリート	【石綿含有】廃プラスチック	【石綿含有】がれき類
排出量	92.522 t	11.476 t	- t	25.776 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	【石綿含有】紙くず	混合（安定型）	混合（管理型）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）
排出量	- t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	【石綿含有】紙くず	混合（安定型）	混合（管理型）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）
排出量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃石綿			
排出量	- t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃石綿			
排出量	- t	- t	- t	- t

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	全処理委託量	0.000 t	335.930 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	217.988 t
	再生利用業者への処理委託量	0.000 t	83.055 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t
	(これまでに実施した取組) ・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。 ・分別推進看板の現場掲示。 ・現場での作業員への直接指導。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	-	-	-	-
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	-	-	-	-
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
全処理委託量	24.750 t	710.219 t	2.340 t	2.260 t
優良認定処理業者への処理委託量	24.183 t	248.875 t	0.000 t	2.260 t
再生利用業者への処理委託量	0.297 t	461.344 t	2.250 t	0.000 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	-	-	-	-
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	-	-	-	-
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
全処理委託量	251.800 t	136.650 t	156.732 t	2,004.216 t
優良認定処理業者への処理委託量	66.291 t	77.160 t	8.104 t	55.436 t
再生利用業者への処理委託量	31.898 t	59.066 t	77.714 t	1,576.541 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	-	-	-	-
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	-	-	-	-
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	【石綿含有】ガラスくず、コンクリート	【石綿含有】廃プラスチック	【石綿含有】がれき類
全処理委託量	111.740 t	13.860 t	0.000 t	31.130 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
再生利用業者への処理委託量	111.740 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	—	—	—	—
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t
【目標】				
産業廃棄物の種類	—	—	—	—
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	【石綿含有】紙くず	混合（安定型）	混合（管理型）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）
全処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
再生利用業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	—	—	—	—
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t

【目標】

産業廃棄物の種類	—	—	—	—
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃石綿			
全処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
優良認定処理業者 への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
再生利用業者への 処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者 への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	全処理委託量	0.000 t	278.153 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	180.496 t
	再生利用業者への処理委託量	0.000 t	68.770 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t
(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。 ・分別推進看板の現場掲示。 ・現場での作業員への直接指導。 ・現場作業、現場加工の削減。 			
※事務処理欄			

【目標】				
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
全処理委託量	20.493 t	588.068 t	1.938 t	1.871 t
優良認定処理業者への処理委託量	20.024 t	206.071 t	0.000 t	1.871 t
再生利用業者への処理委託量	0.246 t	381.997 t	1.863 t	0.000 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

【目標】				
産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
全処理委託量	208.493 t	113.147 t	129.776 t	1,659.509 t
優良認定処理業者への処理委託量	54.889 t	63.889 t	6.710 t	45.901 t
再生利用業者への処理委託量	26.411 t	48.907 t	64.348 t	1,305.390 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

【目標】				
産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	【石綿含有】ガラスくず、コンクリート	【石綿含有】廃プラスチック	【石綿含有】がれき類
全処理委託量	92.522 t	11.476 t	0.000 t	25.776 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
再生利用業者への処理委託量	92.522 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

【目標】				
産業廃棄物の種類	【石綿含有】紙くず	混合 (安定型)	混合 (管理型)	水銀使用製品産業廃棄物 (蛍光管)
全処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
再生利用業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

【目標】				
産業廃棄物の種類	廃石綿	0	0	
全処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
優良認定処理業者 への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
再生利用業者への 処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者 への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書

事業場の名称	大東建託株式会社 岡崎支店
事業場の所在地	愛知県岡崎市柱町字折戸13番地ヴィラ・オールド1階
①当該事業場における事業の概要	別添のとおり
②計画期間	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日
③産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	別添「特定排出事業者の産業廃棄物適正処理報告書」のとおり
④産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	別添「特定排出事業者の産業廃棄物適正処理報告書」のとおり
⑤産業廃棄物の分別に関する事項	別添「特定排出事業者の産業廃棄物適正処理報告書」のとおり
⑥産業廃棄物の再生利用に関する事項	別添「特定排出事業者の産業廃棄物適正処理報告書」のとおり
⑦産業廃棄物の処理に関する事項	別添「特定排出事業者の産業廃棄物適正処理報告書」のとおり
備考	

（第1面）

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">令和 7年 5月 28日</p> <p>岡崎市長 様</p> <p style="text-align: right;">提出者</p> <p style="text-align: right;">住 所 岡崎市針崎町字蓮谷15番地</p> <p style="text-align: right;">氏 名 小原建設株式会社 土木事業部</p> <p style="text-align: right;">土木事業部長 石川 光徳</p> <p style="text-align: right;">（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）</p> <p style="text-align: right;">電話番号 0564-51-2623</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	小原建設株式会社 土木事業部
事業場の所在地	岡崎市針崎町字蓮谷15番地
計画期間	令和 7年度（令和 7年 4月～令和 8年 3月）
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06：総合工事業
② 事業の規模	元請完成高 20億900万
③ 従業員数	44人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類→再生処理業者に委託し、破碎後、再生砕石として再資源化、 木くず→再生処理業者に委託し、破碎後、チップ材等に再資源化 汚泥→中間処理業者に委託し、脱水等の処理後、再生砂等に再資源化、 廃プラスチック→再生処理業者に委託し、破碎後、RPF燃料等として再資源化 混合物→最終処理業者に委託し、選別後破碎・焼却・埋立処分

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
全社統合管理責任者 (廃棄物処理に関する検討など) ↓全社産廃管理責任者 (廃棄物処理方針の検討・マニュアル等の策定改訂など) ↓土木事業部産廃管理責任者 (廃棄物処理計画の作成、マニフェストの集計管理など) ↓各作業所工事担当者 (各現場での廃棄物処理計画、マニフェスト管理など)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度(令和6年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず
	排出量	8,404 t	2 t
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥
	排出量	47 t	63 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	その他安定型品目
	排出量	47 t	75 t
	産業廃棄物の種類	紙くず	
	排出量	5 t	
	(これまでに実施した取組)		
現場、作業所での抑制啓蒙、分別作業梱包材なしでの現場納入(廃プラスチック、紙くず、木くず)			
②計画	令和7年度(令和7年4月～令和8年3月)		
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず
	排出量	8,200 t	2 t
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥
	排出量	45 t	50 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	その他安定型品目
	排出量	40 t	60 t
	産業廃棄物の種類	紙くず	
	排出量	5 t	
	(今後実施する予定の取組)		
上記実施事項の継続 工法の改善(その他安定型品目)			
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類は(コンガラ、アスガラ)、 ガラス・陶磁器くずにそれぞれ分類する。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記に加え、木くず(生材、加工材)、廃プラスチックについても 分類し、保管する。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度(令和6年度)実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	その他安定型品目
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	紙くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 未実施 ダンボールリサイクル(紙くず) コンクリート2次製品の再使用(がれき類) プラスチック製品の再使用(廃プラスチック)		
	②計画	【目標】	
産業廃棄物の種類		がれき類	金属くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		0 t	0 t
産業廃棄物の種類		木くず	汚泥
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		0 t	0 t
産業廃棄物の種類		廃プラスチック	その他安定型品目
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		0 t	0 t
産業廃棄物の種類		紙くず	
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		0 t	
(今後実施する予定の取組) 上記実施事項の継続 事業系一般廃棄物の分別徹底 現場、作業所単位での啓蒙活動			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(令和6年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	その他安定型品目
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	紙くず	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 未実施		
	②計画	【目標】	
産業廃棄物の種類		がれき類	金属くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		0 t	0 t
産業廃棄物の種類		木くず	汚泥
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		0 t	0 t
産業廃棄物の種類		廃プラスチック	その他安定型品目
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		0 t	0 t
産業廃棄物の種類		紙くず	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		0 t	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		0 t	
(今後実施する予定の取組) 実施予定なし			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋処分に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	その他安定型品目
	自ら埋立処分又は海洋処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	紙くず	
	自ら埋立処分又は海洋処分を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 未実施		
	【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	その他安定型品目
	自ら埋立処分又は海洋処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	紙くず	
	自ら埋立処分又は海洋処分を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず
	全処理委託量	8,404 t	2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	759 t	1 t
	再生利用業者への処理委託量	8,404 t	2 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥
	全処理委託量	47 t	63 t
	優良認定処理業者への処理委託量	11 t	50 t
	再生利用業者への処理委託量	47 t	63 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	その他安定型品目
	全処理委託量	47 t	75 t
	優良認定処理業者への処理委託量	31 t	50 t
	再生利用業者への処理委託量	47 t	75 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	紙くず	
	全処理委託量	5 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	4 t	
	再生利用業者への処理委託量	5 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 委託業者と書面により、委託契約を締結する。 可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、 最終処分量の低減を図る。		

		【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	
	全処理委託量	8,200 t	2 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	820 t	2 t	
	再生利用業者への処理委託量	8,200 t	2 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥	
	全処理委託量	45 t	50 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	10 t	45 t	
	再生利用業者への処理委託量	45 t	50 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	その他安定型品目	
	全処理委託量	40 t	60 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	30 t	45 t	
	再生利用業者への処理委託量	40 t	60 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	
	産業廃棄物の種類	紙くず		
	全処理委託量	5 t		
	優良認定処理業者への処理委託量	5 t		
	再生利用業者への処理委託量	5 t		
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t		
(これまでに実施した取組) 優良認定処理業者を選定する。 可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、 最終処分量の低減を図る。 委託先との聞き取り調査と現地確認(委託締結時、処理時)				
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1

【前年度(令和6年度)実績】

	廃棄物の種類	がれき類	金属くず	木くず	汚泥	廃プラスチック	混合廃棄物	紙くず			
	名称(任意の名称を記入してください)	コンクリートガラ アスコンガラ	金属くず	伐木材	建設汚泥	塩ビ材	安定型品目	紙・ダンボール			
①	排出量(t)	8,404	2	47	63	47	75	5			
②	自ら再生利用を行った量(t)	0	0	0	0	0	0	0			
③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)	0	0	0	0	0	0	0			
⑤	自ら熱回収を行った量(t)	0	0	0	0	0	0	0			
⑦	自らの中間処理による減量(t)	0	0	0	0	0	0	0			
⑩	処理委託した全量(t)	8,404	2	47	63	47	75	5			
⑪	優良認定処理業者への 処理委託量(t)	759	1	11	50	31	50	4			
⑫	再生利用業者への処理委託量(t)	8,404	2	47	63	47	75	5			
⑬	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0			
⑭	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0			

別紙2

【今年度(令和7年度)計画】

	廃棄物の種類	がれき類	金属くず	木くず	汚泥	廃プラスチック	混合廃棄物	紙くず			
	名称(任意の名称を記入してください)	コンクリートガラ アスコンガラ	金属くず	伐木材	建設汚泥	塩ビ材	安定型品目	紙・ダンボール			
①	排出量(t)	8,200	2	45	50	40	60	5			
②	自ら再生利用を行う量(t)	0	0	0	0	0	0	0			
③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量(t)	0	0	0	0	0	0	0			
⑤	自ら熱回収を行う量(t)	0	0	0	0	0	0	0			
⑦	自らの中間処理による減量(t)	0	0	0	0	0	0	0			
⑩	処理委託する全量(t)	8200	2	45	50	40	60	5			
⑪	優良認定処理業者への 処理委託量(t)	820	2	10	45	30	45	5			
⑫	再生利用業者への処理委託量(t)	8200	2	45	50	40	60	5			
⑬	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0			
⑭	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0			